

九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 8 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(火山活動度レベル1)] 4日にやや活発な状況(火山活動度レベル2)から引き下げ

中岳第一火口内の湯だまり量は、10割で経過し、表面温度も60以下と低い状態が続きました。また、小規模な土砂噴出もなく火山活動は静穏になったと判断し、4日にレベルを2から1に引き下げました。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢 静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

[新燃岳 静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)] 18日に活発な状況(火山活動度レベル3)から引き下げ

南岳山頂火口では小規模な噴火が観測されましたが、昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏になったと判断し、18日にレベルを3から2に引き下げました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
地震活動、噴煙活動ともにやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]
噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.ima.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-ima.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、10月10日(火)の予定です。

火山情報発表状況(平成 18 年 8 月)

火山名	情報名	発表時間	概要
阿蘇山	火山観測情報第 5 号	4 日 15 時 00 分	やや活発な状況(レベル 2) 静穏な状況(レベル 1) 中岳第一火口内の湯だまりの表面温度は 60 以下と低くなり、小規模な土砂噴出の発生もないなど噴火の可能性は低く、火山活動は静穏になったと判断し、レベルを引き下げました。
桜島	火山観測情報第 28 号	4 日 15 時 45 分	活発な状況(レベル 3) 山頂火口及び昭和火口の活動状況(噴火の状況、火山性地震・微動の発生回数)
	火山観測情報第 29 号	11 日 15 時 30 分	
	火山観測情報第 30 号	18 日 15 時 30 分	活発な状況(レベル 3) 比較的静穏な噴火活動(レベル 2) 南岳山頂火口の噴火は時々発生していますが、昭和火口からの噴火の発生はなく、火山活動は比較的静穏な噴火活動になったと判断し、レベルを引き下げました。